

おすすめ！
コープの
商品

国産キウイフルーツ（有機栽培）

出荷のときを待っています！ たわわに実った、国産キウイフルーツ



「農業は毎年1年生みたい」と語る生産者。おいしいキウイフルーツを作りたいと生産に励んでいます。本格的に収穫が始まる直前の11月上旬、産地を訪れ、話を聞きました。

キウイを育てて46年

車でやっと上ることができると急斜面を行き、山を切り開いた土地に斜めに広がるのは、紀ノ川農業協同組合（和歌山県紀の川市。以下、紀ノ川農協）の生産者・吉岡利晃さん（とよ）と笑います。吉岡さんの畑で、紀ノ川農協キウイ部会長でもある吉岡さんと、前キウイ部会長で、有機部会長を務める井上雅夫さんに話を聞きました。

紀ノ川農協では46年ほど前からキウイフルーツを栽培しています。井上さんと吉岡さんは、2000年に国の「有機JAS」規格ができる以前から、化学肥料や農薬に頼らず、自然の力を生かして育てる有機栽培でキウイフルーツを育ててきました。



「収穫時はまだ固いんです。一度に2〜3個ずつとっちゃいます」と吉岡さん

現在、60人の生産者のうち17人が有機栽培で生産しています。2人ともいろいろなる果物を育てていますが、「キウイはつる性の植物で、他の果物より枝を動かして育てやすいよね」と口をそろえて言います。「収穫も手でポロッととれるんですよ」と吉岡さんは笑顔。「剪定・受粉・収穫」が特に大事だと2人は言います。

毎年1年生

収穫は毎年11月中旬に一気にいい、12月半ば頃から2月いっぱいはいは次の収穫に向け枝を整える剪定をします。「収穫後、葉が落ちたら、はさみで枝の量を調節します。一番実がなる枝を見極めて残していきます。日の光で実がおいしくなるから、よく光が当たるように。剪定でキウイの着果数や大きさの7〜8割が決まります」と吉岡さん。剪定したら180cmほどの高さの棚に、枝を固定し割り当てていきます。

4月、つぼみがつくくと摘蕾（とくわい）をします。花は、真ん中の本花と脇に咲く側花とがありますが、本花のつぼみだけを残し、側花や変形したものを取り除く作業です。キウイフルーツはオスの木とメスの木、両方がないと実がつかせせん。「オスの木・メスの木は品種が違

い、オスのほうが5日ほど早く花が咲くんです。咲いたら受粉作業の準備です。すぐに花を取って機械で花粉を取り出し、メスの花が咲いたら風でそれを飛ばして受粉させます」と井上さんが説明します。

実がなると6月〜7月にかけて変形果を落とし（摘果）、夏の暑い時期には水をまき、草を刈ります。

有機栽培の場合、毎年畑で収穫前に監査があり、規格通りに栽培がされているか確認されたから収穫します。収穫後は冷蔵庫で保管し、紀ノ川農協で選別してからコープに出荷します。全てを出荷するまで4〜5カ月。すぐに出荷する分は追熟させ、その他は徐々に甘くなっていきます。「長いことやって、経験したことがない自然環境の変化があります。それを乗り越えられるように、キウイ部会で集まり、他の産地とも情報交換して技術を磨いています」と井上さん。

「農業は毎年生産条件が変わって、毎年1年生みたいです。そんな中で、糖度が高くて、おいしいキウイを作りたいと思っています。うちでは毎朝、自分たちの作った果物が食卓に出ています。ぜひ、皆さんも朝食などで食べてください！」吉岡さんは最後にこう話してくれました。食卓を豊かにすることはもちろん、食べる心ももっと豊かになる果物。国産キウイフルーツをぜひ召し上がってみてください。



訪れたのは11月。たっぷりの光を浴びて育ったキウイフルーツ。まもなく収穫です！(写真A) 収穫は一度に2〜3個ずつ取れます(写真B) 木の幹に切り込みを入れることで、土との境界線を作り、万が一病気になる時に広がらないようにしています(写真C) キウイ畑の傾斜をご覧下さい(写真D) 「キウイの葉は、丸っこいハート型だよ」と吉岡さん(写真E) 栽培は山の上。2人の後ろに広がるのがキウイ畑のてっぺんです(写真F)

食べ頃に食べてほしい！！

食べ頃は、人の耳たぶくらいのやわらかさ。手で割ることができるくらいが、追熟が最高の状態です。かたいものがお手元にある場合は、りんごやバナナと一緒にビニール袋に入れて、常温に置いておけば追熟します。冷蔵庫に入れておくと、やわらかくならないですよ！



20歳で就農して、
農業歴47年
紀ノ川農協生産者
有機部会長
井上雅夫さん



23歳で就農して、
農業歴23年
紀ノ川農協生産者
キウイ部会長
吉岡利晃さん



有機JAS認証

化学的に合成された肥料や農薬の使用を避けることを基本として、自然界の力を生かして生産する有機栽培がされた商品が受ける認証。このマークがないものは「有機」「オーガニック」と表示できません

今回ご紹介した 商品はこちら！

国産キウイフルーツ(有機栽培)
300g(3〜5個)



宅配:2月2回・3回に取り扱う予定です
和歌山県紀ノ川農業協同組合の他に、
神奈川県ジョイファームが田舎、徳島県キウイフルーツ協会の
ものもお届けする場合があります

店舗:徳島県キウイフルーツ協会のものを、
一部店舗を除いて取り扱う予定です。
このほか、産直キウイフルーツ
(福岡県JAふくおか八女を中心に)を全店で取り扱う予定です